

知事より職員の方へ

<平成21年度の県政運営にあたって>

平成21年4月1日

知事 梶山 昭彦

職員の方へ、平成21年度の県政運営にあたっての私の思いをお伝えします。

○ピンチをチャンスに

未曾有の経済危機の中、新年度が始まりました。

雇用・経済情勢が厳しさを増しており、行政の一層の対応が強く求められています。

私はかねてより「ピンチをチャンスに」ということを申し上げてきました。

こうした大ピンチの時こそ、なおのこと萎縮することなく、中長期的な視点に立って、チャンスに向けた着実な取組を進めなければなりません。

ピンチの時に何をしたかが、将来的に歴然とした差を生むのだと思っています。

三重県ではこれまで、各部局・各職場が、独自の発想で、創意工夫あふれる経営品質向上活動を展開してきました。

その経験を活かし、全職員が知恵を出し合い、自分たちがなし得る「不断の改善」を的確に実践することが、逆境を切り拓くチャンスにつながるものと、私は確信しています。

ピンチこそ心をひとつにし、「改革」「発展」に邁進するチャンスです。

○対話で職場の活性化を

また、こうした正念場にとりわけ重要なのは、職員の方の元気と、それを支える職場の活力です。

「職員一人ひとりの行動基軸」にもありますとおり、「対話」を重視し、職場での話し合いを進め、チームワークの向上を図ってください。

「対話」はまさに業務の一部です。

時代の大きな転換期、そして、かつてない逆境の時。

これまで磨き上げてきた職員の方の「発想力」、「感性」、「チャレンジ精神」に期待しています。

三重県庁の真価を見せようではありませんか。

1 職員一人ひとりの行動基軸

① 信頼される公務員をモットーにします。

法令を遵守し、「公平・公正・透明」を基本に、誰のため、何のための県政かを常に素直に考え、感性を高め、県民の皆様の要望や意見に、真摯に対応します。

② 対話を促進します。

笑顔の対話を職場の風土とし、チームワークを高めます。一人ひとりの気づきと納得に基づき、率先実行取組を着実に実行します。

③ 工夫して不断の改善に努めます。

常に求めて学び、互いに切磋琢磨します。これまでやってきたことに批判眼をもって取り組み、日常業務において不断の努力を積み重ね、改善していきます。

特に、幹部職員は、常に使命を自任し、職員の先頭に立って情熱と勇気・気概を示すと共に、所管する組織の行政能力を最高に発揮できるようリーダーシップを果たします。

また、この行動基軸の定着の第一歩として、全職員があいさつ、整理整頓を励行し、明るい職場づくりに努めます。幹部職員はそれを率先垂範します。

2 平成21年度の政策展開にあたって

○ 「緊急雇用・経済対策」

緊急雇用・経済対策は、平成21年度の最優先課題であり、雇用対策、経済対策、生活対策を柱に、雇用機会の創出や中小企業の資金調達の円滑化、新たな事業展開に向けた取組への支援、離職者等への生活支援等、総合的な対策を進めます。

今後も、官民一体となった「三重県経済危機対策会議」での意見や、地域の雇用・経済情勢等を見極めながら、追加的な対策が必要な場合は、迅速に対応します。

○ 「^{うまし}美し国・三重の常若」～「文化力」を原点に～

今一度「文化力」を思い起こしてください。

私は、豊かな人間性を基本に据えた「文化力」の考え方は、行き過ぎた市場経済を反省し、本来日本社会が持っていた信頼関係や温かさ、一体感といった強み、豊かな感性に基づく価値観を大切にすることで、現在日本が抱えている社会のひずみや格差問題、そして経済危機の今だからこそ重要になってきていると思います。

そして、「文化力」の考え方により新しい価値を生み出していくことは、時代に先行する、いわば、三重発の世直しモデルになるものと考えます。

今後も、生活の質の向上や「心の豊かさ」、産業の元気づくりといった中長期の視点での「文化力」の考え方を大切にして、県政を運営していく決意です。

○ 「“文化力立県”元年」

平成21年度は、「文化力」を象徴する事業として、「^{うまし}美し国おこし・三重」のオープニングや新県立博物館の整備を本格的にスタートさせます。

「^{うまし}美し国おこし・三重」では、地域の宝を再認識し、さらに磨きをかけ、地域の誇りをつくっていく、そのような地域づくりを地域の皆さんが実践できるようにするとともに、こうした地域づくりを新たな経済活動の創出にもつなげていきたいと考えています。

また、「文化と知的探求の拠点」としての新県立博物館の開館に向けて、建築や展示のための設計等に着手します。

さらに、全国知事会議や全国高等学校総合文化祭、世界新体操選手権、熊野古道を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録5周年を記念する国際シンポジウム等の大型イベントの開催や紀南中核的交流施設のオープン等を予定しており、集客の拡大と県内経済の活性化にもつなげていきたいと考えています。

そして、本年を「“文化力立県”元年」と位置づけ、今回の経済危機にもしっかりと対峙しながら、県民の皆さんが心豊かに暮らせる地域社会づくりに取り組みます。

○ 第二次戦略計画の推進

平成21年度は、第二次戦略計画の後半のスタートの年であり、さらに、「質の行政改革」を展開していきます。

重点的な取組については、これまでの2年間の取組の成果や県民ニーズを含めた外部環境の変化を踏まえ、新型インフルエンザ対策を新たに重点事業に位置付けるなど、必要な見直しを行いました。今後も、多様な主体とともに取組を進め、目標達成を目指して効率的・効果的に事業を展開してください。